

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 29 日(2022.3.29)

【公開番号】特開 2021-89984(P2021-89984A)

【公開日】令和 3 年 6 月 10 日(2021.6.10)

【年通号数】公開・登録公報 2021-026

【出願番号】特願 2019-219846(P2019-219846)

【国際特許分類】

H 0 5 K 7/20(2006.01)

H 0 2 G 3/16(2006.01)

10

【F I】

H 0 5 K 7/20 M

H 0 2 G 3/16

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 18 日(2022.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

(3) 前記冷却部品が、前記冷媒の流入口と流出口を備えた冷媒流路を有しており、前記流入口と前記流出口に外部の冷媒供給路と冷媒排出路が接続可能とされていることが好ましい。冷却部品に設けられた冷媒流路の流入口と流出口に対して、外部の冷媒供給 / 排出路を容易に接続することができ、冷却部品の冷媒流路内の冷媒の循環を容易に実現できるからである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 6】

これにより、バスバー 3 2 , 3 4 に対して第一および第二の冷却部品 7 0 a , 7 0 b における第一および第二の底壁部 8 0 a , 8 0 b が直接的に当接することで、第一および第二の底壁部 8 0 a , 8 0 b が熱的に接触している。特に、第一および第二の底壁部 8 0 a , 8 0 b には、上下方向両側に突出する突出部分 8 4 , 8 4 が設けられており、バスバー 3 2 , 3 4 との接触面積が大きく確保されている。この結果、バスバー 3 2 , 3 4 から第一および第二の冷却部品 7 0 a , 7 0 b への伝熱効率の向上が図られている。尤も、バスバー 3 2 , 3 4 と第一および第二の冷却部品 7 0 a , 7 0 b とは熱的に接触していればよく、直接的に当接している必要はない。即ち、バスバーと冷却部品との間に伝熱性を有する部材が設けられてもよく、バスバーと冷却部品とは伝熱性を有する部材を介して間接的に当接していてもよい。

40